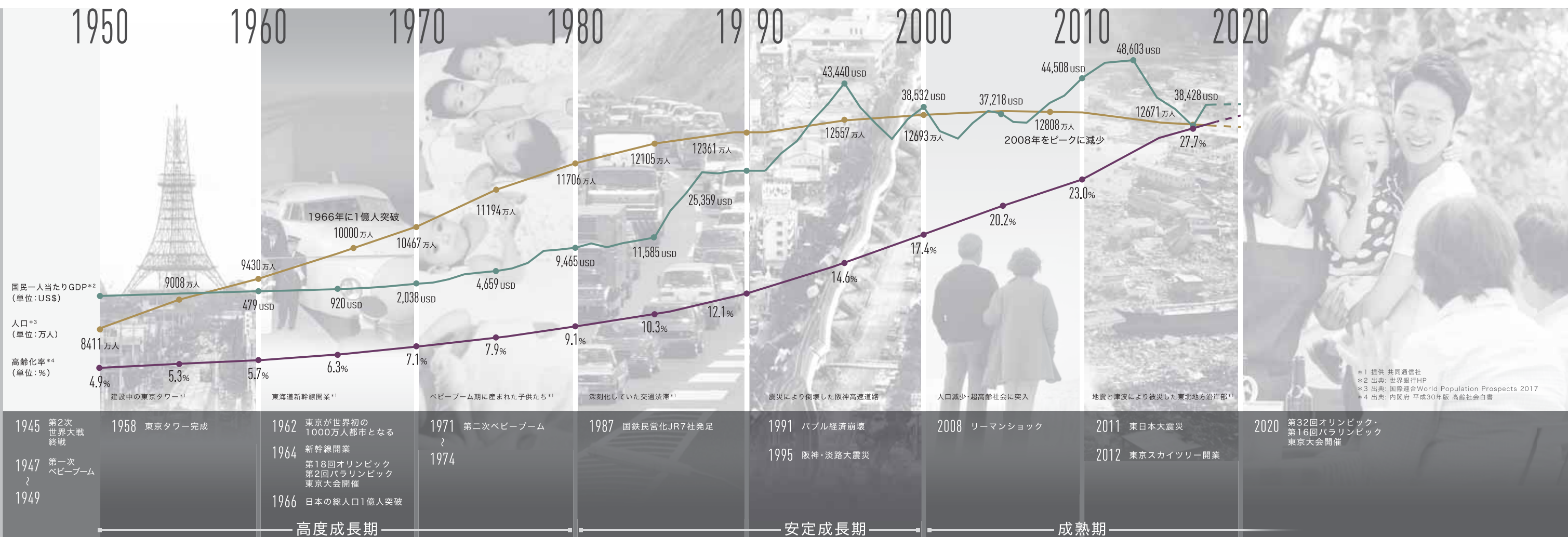


# UR都市機構の歴史

日本社会のあゆみ



日本の政策の変遷

URのあゆみ

### 住宅不足の解消

**新しい住宅様式の普及**

戦後の住宅不足解消のため、日本住宅公団が設立。食事と就寝を同室で行うこれまでの住様式ではなく、「食寝分離」という新しい住様式(DKスタイル)を提案するなど、日本のライフスタイルを先導しました。

### 居住環境及び都市機能の向上

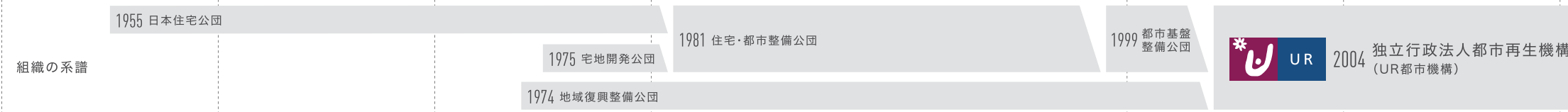
**TODによる総合的住環境づくり**

住宅不足が解消され、時代は「量から質」へと転換しました。住宅主体だった開発から、鉄道建設と併せた駅前開発や公共施設整備など(TOD)を手掛け、総合的な居住環境づくりを積極的に行いました。

### 都市の再生

**魅力ある複合的多機能都市の創出**

産業や人口の都市部への一極集中を是正するため、多極分散型の都市を目指すと同時に、戦後の急速な都市化の際に建設された脆弱なインフラや都市の防災機能の向上も目指した都市開発を行いました。また、1995年に発生した阪神・淡路大震災の復興にも尽力しました。



日本の発展の歴史には、いつもUR都市機構のまちづくりがあります。